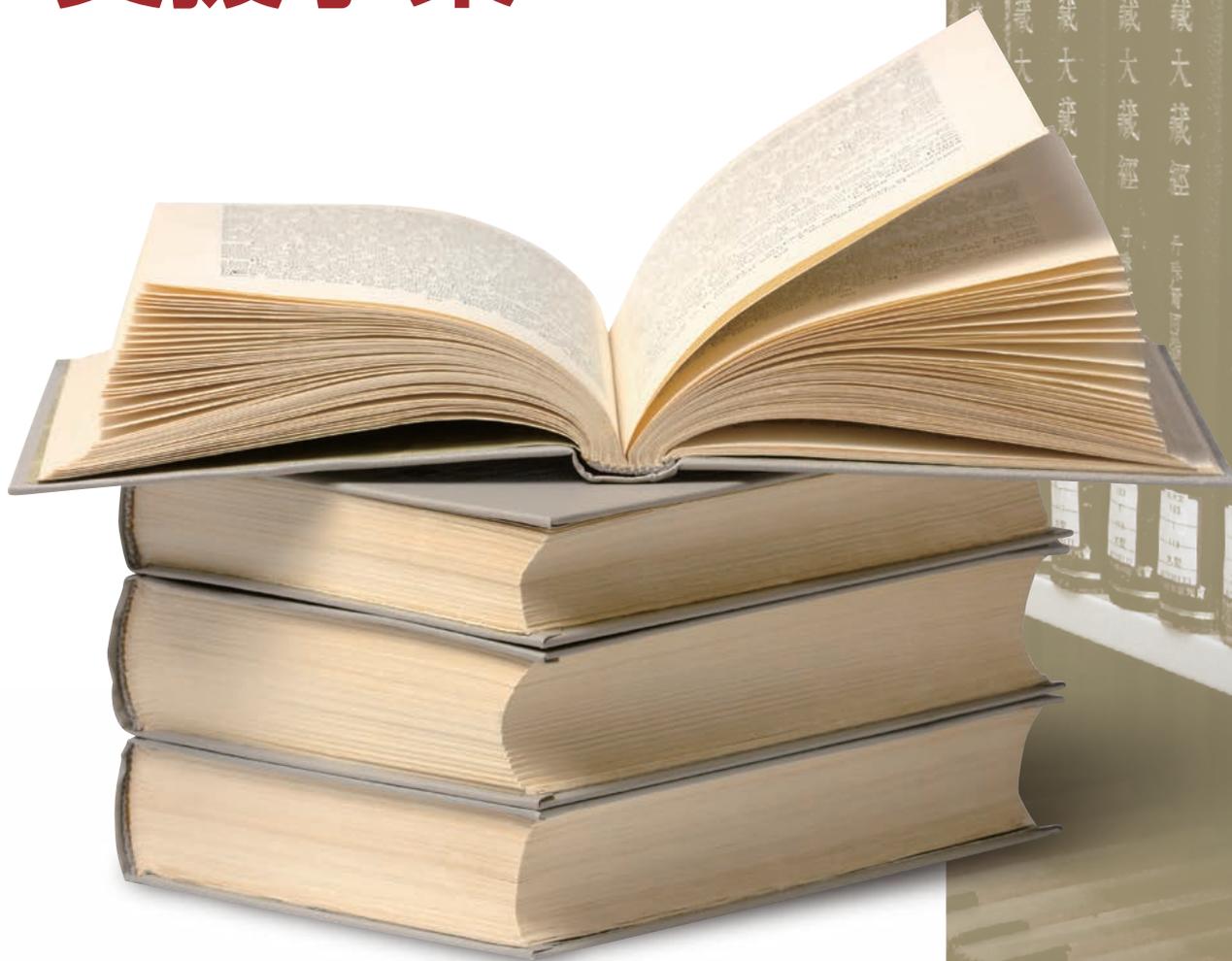


名古屋大学特定基金

ご支援のお願い



人文学研究科 人文学教育研究 支援事業



ご挨拶

名古屋大学文学部は1948(昭和23)年に設置され、2025(令和7)年で創立77周年を迎えます。その後1953(昭和28)年に設置された文学研究科は、1998(平成10)年に設置された国際言語文化研究科、1991(平成3)年に設置された国際開発研究科国際コミュニケーション専攻と統合し、2017(平成29)年に人文学研究科として新しいスタートを切り、今日に至ります。



この間、名古屋大学文学部・人文学研究科は、東海地域の中核的総合大学における、わが国有数の人文学の教育研究拠点として、社会の各方面に多くの優れた人材を送り出して参りました。今後とも人文学の一層の発展を目指して、教育研究活動の充実と高度化に邁進していく所存です。

文学部創立75周年記念事業の際には、皆様方から多額のご寄附をいただきまして、誠に有難う存じました。おかげをもちまして、寄附金によって文学部図書室の向かい側に書庫を新設し、各研究室から広く利用されることが望ましい雑誌と図書を収蔵することが出来ました。改めまして、心より感謝を申し上げます。

皆様方からこのように温かいご支援をいただいたにも関わらず、昨今の関東地方の国立大学が軒並み学費を値上げしたニュースなどで皆様もご存じのように、国から国立大学への運営費交付金は減額され続けて20年となり、そのことが人文系の教育・研究にも深刻な影響を及ぼしています。

予算が厳しい中、人文系の教育研究に最低限必要な図書・文献を買い足してきた結果、文学部図書室の蔵書は30万冊をはるかに超えています。さらに教員・学生の活発なフィールド調査による資料も、年々蓄積されています。国内外からの閲覧申込が相次いでいる真継家文書をはじめ、貴重資料の一部はデジタルアーカイブ化を進めており、どこでも誰でもアクセスできる文化資源として社会に供しています。しかし、デジタル化した元の文書も保存する必要があります。こうした資料は、劣化を防ぐため湿度等を適切に保つ設備を備えた貴重資料室で管理しなければなりません。現在ある貴重資料室は容量が足りず、文書の保全と継承が危ぶまれる事態になっています。これは文学部・人文学研究科の教育・研究活動にとってのみならず、一般社会への研究成果の還元という点でも危機的な状況です。

文学部・人文学研究科の教員は質の高い研究を重ね、日本学術振興会科学研究費等に採択されて獲得した資金でさらに研究を進展させ、その成果を教育に生かしておりますが、そのような競争的資金は用途が限定され、建物などの設備には支出できません。また、大学全体の予算は物価や光熱費の高騰で圧迫され、今後も文書スペースの整備・拡充に大学予算が付く見込みはない状況です。

残念ながら現状では、こうした問題を自力で解決することは困難なため、なおも皆様からのご支援を仰がざるを得ない状況です。そのために再び、人文学研究科人文学教育研究支援事業を立ち上げ、皆様からの寄附金を最大限有効に活かして、アーカイブおよび文献所蔵スペースの整備、社会への還元に取り組むたいと考えております。皆様方におかれましては、どうぞこの趣旨にご理解いただき、本支援事業への格別のご支援とご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

2025年4月吉日

名古屋大学文学部・人文学研究科長

星野幸代

「名古屋大学基金」は、創立70周年(2009年度)を迎えるタイミングを契機に2006年度に設立され、卒業生、企業・団体、個人の皆様にご協力をお願いしておりますが、これはいただいた寄附金を基金として積立て、その運用益で各種の事業を展開するものであり、昨今の厳しい経済状況及び低金利の中、十分な運用益を上げるのが厳しい状況となっております。

そのため、「名古屋大学基金」では、寄附金の運用益による事業とは別に、寄附金の一部を直接支出できる「特定基金」を設け、部局事業に活用することとなりました。

1 事業の内容

「特定基金:人文学研究科 人文学教育研究支援事業」を指定していただいた寄附金は、その一部を名古屋大学基金として運営しますが、文学部・人文学研究科が行う特定基金事業の推進に活用させていただき、文学部・人文学研究科における研究基盤の一層の整備・拡充を図ります。

皆様方のご賛同と格別のお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

■ 人文学の研究に必要な資史料・図書などの収蔵スペースの整備・拡充

資史料・図書の収蔵スペースを整備・拡充し、図書室の収容力を高め、人文学の教育・研究にとって不可欠な資史料・図書を有効に活用することができるような環境を整えます。また、所蔵する貴重書を保全するための設備(空調等)の更新を行います。

■ 学習支援事業

研究面の機能強化に不可欠な人材育成を促進するため、優秀な大学院生や若手研究者に対し学習支援経費を支給する等、若手人材の研究力向上を図ります。

■ その他

研究活動スペース等の整備、周年記念事業を含む学術イベントの開催等を行っていきます。

2 基金の管理運営方法

大学院人文学研究科内に特定基金運営委員会を設け、事業計画などを審議し、人文学研究科長の決定に従って支出します。

3 ご協力をお願いしたい金額

1口 **10,000円** です。

基金目標額:10,000千円/年 基金募集期間:2025年度~2029年度

本基金の趣旨をご理解いただき、なにとぞ複数口のご協力をお願いいたします。

分割納付によるご寄附も可能です。複数年にわたる継続的なご寄附も承っております。



4 ご寄附の申し込み方法

■ 個人の皆様

ご寄附の方法は、以下の種類をご用意しております。いずれの場合も“特定基金：人文学教育研究支援事業”をご指定願います。

◇ クレジットカード、インターネットバンキング、ATM、コンビニによる方法

「名古屋大学基金」のHP(<https://kikin.nagoya-u.ac.jp>)からお申し込みください。

◇ 銀行・郵便局で振込用紙による方法

本パンフレットに同封の振込用紙をご使用ください。または、下記のお問い合わせ先までご連絡いただければ、振込用紙を送付させていただきます。

■ 法人・団体の皆様

名古屋大学Development Office (DO室) までご連絡ください。

5 寄附金に対する税法上の優遇措置

税法上の優遇措置があります。「名古屋大学基金」のHP (<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/honoring/exemption>) をご覧ください。

6 ご寄附をいただいた方への特典

名古屋大学基金の特典 (<https://kikin.nagoya-u.ac.jp/honoring>) に加え、本特定基金にご寄附いただいた方には、感謝の意を込めて以下の特典をご用意しております。なお、寄附金を分割納入いただいた場合、あるいは複数回ご寄附いただいた場合は、寄附金の合計額で顕彰いたします。

寄附をいただいたすべての方々

記念品 (特製クリアファイル／特製絵葉書セット等) を贈呈します。

文学部棟入口に掲示しております寄附者銘板にご芳名等を掲載します。

総額3万円 (3口) 以上の寄附をいただいた方々

記念品 (特製布製バッグ) を贈呈します。

お問い合わせ先

〒464-8601 名古屋市中種区不老町

名古屋大学 Development Office (DO室)

TEL 052 (789) 4993

Eメール: do@kikin.nagoya-u.ac.jp

名古屋大学文学部・人文学研究科 特定基金事務局

TEL 052 (789) 2202

Eメール: hum-sou@t.mail.nagoya-u.ac.jp